

校長室だより



12月①号

私は、毎朝和歌山城南側岡口門前三年坂を自家用車で通勤していますが、日に日に和歌山城の木々が紅く染まり、紅葉真っ盛りの季節になりました。季節は秋を過ぎて「冬」。特に朝晩は冷え込み、寒さが津々とからだにしみこみますが真っ赤な紅葉は、こころ和む景観ですね。



さて、本校では11月に中学部の現場実習、そして高等部が今年度2回目の現場実習に取り組みました。中学部は3年生が3日間、県立紀伊風土記の丘の環境整備作業を体験させていただきました。特別史跡である岩橋千塚古墳群の清掃作業を中心に実習に取り組みました。丁寧に職員の方々が教えていただき貴重な実習ができました。

高等部は1年生から3年生までほぼ生徒一人ずつが24事業所に分かれて実習でお世話になりました。私もほぼすべての事業所様にご挨拶にうかがいましたが、とっても丁寧に対応いただき、感謝でいっぱいです。生徒たちは学校とはまた異なる表情で緊張しながらも真剣な眼差しで頑張っている姿を見て感動しました。ご多用の中ご対応いただいた事業所職員の皆様方にお礼申し上げます。生徒たちは改めて「自分の進路」を深く考え、自分に適した職種を選択する機会をいただきました。学校に戻り、それぞれ事後学習にも取り組みました。

そして、12月2日、恒例の「現場実習報告会」を体育館で行いました。全員が、実習の目標、取り組んだこと、学んだこと、感じたこと、頑張ったこと、反省等を事後学習でスライドにまとめて、当日は、一人一人が「持ち時間」でプレゼン発表しました。「振り返る」「考える」「まとめる」「発表する」「話をする」力は、「生きる力」「働く力」「自立する力」にとっても大切です。また、友だちの発表（プレゼン）を観る・聴くことも大切です。自分の実習だけでなく色々な職種の仕事があること、自分の実習と比較することや友だちの事業所の内容をしる、興味をもつこと、また、今の自分の改善点や今後の目標をもつ機会にもつながったことと思います。

私は、生徒たちの実習中の様子を思い出しながら、一人一人の発表する「たくましさ」に感動するとともに、一生懸命頑張っている姿を観ることができてとてもうれしかったです。

最後の質疑応答タイムで特に3年生は全員が自分の言葉で、感じたこと、大切なこと、そして「学校生活で大切なこと」を発表できたことに感慨深いものがありました。

